

CASBEE-新築(簡易版)2008年版
(仮称)京都南病院

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル CASBEE-新築(簡易版)2008年

■評価ソフト: CASBEE-NCb_2008(v.3.1)

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体	
				評価点	重み係数	評価点	重み係数		
Q 建築物の環境品質									3.0
Q1 室内環境					0.40				3.4
1 音環境				3.3	0.15	3.2	1.00		3.3
1.1 騒音				3.0	0.40	3.0	0.40		
1 暗騒音レベル				3.0	1.00	3.0	1.00		
2 設備騒音対策				-	-	-	-		
1.2 遮音				3.8	0.40	3.6	0.40		
1 開口部遮音性能		T-2級にて計画		5.0	0.40	5.0	0.30		
2 界壁遮音性能				3.0	0.60	3.0	0.30		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				3.0	-	3.0	0.20		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				3.0	-	3.0	0.20		
1.3 吸音				3.0	0.20	3.0	0.20		
2 温熱環境				3.0	0.35	2.7	1.00		3.0
2.1 室温制御				3.1	0.50	2.5	0.50		
1 室温設定				3.0	0.38	3.0	0.57		
2 負荷変動・追従制御性				-	-	-	-		
3 外皮性能				2.0	0.25	2.0	0.43		
4 ゾーン別制御性		4管式AHU・FCU方式、冷暖同時ビル用マルチエアコン採用		4.0	0.38	-	-		
5 温度・湿度制御				-	-	-	-		
6 個別制御				-	-	-	-		
7 時間外空調に対する配慮				-	-	-	-		
8 監視システム				-	-	-	-		
2.2 湿度制御				3.0	0.20	3.0	0.20		
2.3 空調方式				3.0	0.30	3.0	0.30		
3 光・視環境				3.0	0.25	3.3	1.00		3.1
3.1 昼光利用				4.2	0.30	4.2	0.30		
1 昼光率		3%以上確保		5.0	0.60	5.0	0.60		
2 方位別開口				-	-	3.0	-		
3 昼光利用設備				3.0	0.40	3.0	0.40		
3.2 グレア対策				2.0	0.30	3.0	0.30		
1 照明器具のグレア				-	-	-	-		
2 昼光制御				2.0	1.00	3.0	1.00		
3.3 照度				3.0	0.15	3.0	0.15		
1 照度				3.0	1.00	3.0	1.00		
2 照度均斉度				-	-	-	-		
3.4 照明制御				3.0	0.25	3.0	0.25		
4 空気質環境				4.7	0.25	4.5	1.00		4.6
4.1 発生源対策				5.0	0.50	5.0	0.63		
1 化学汚染物質		F☆☆☆☆材料の使用		5.0	1.00	5.0	1.00		
2 アスベスト対策				-	-	-	-		
3 ダニ・カビ等				-	-	-	-		
4 レジオネラ対策				-	-	-	-		
4.2 換気				4.0	0.30	3.6	0.38		
1 換気量				3.0	0.50	3.0	0.33		
2 自然換気性能				3.0	-	3.0	0.33		
3 取り入れ外気への配慮		外気取り入れ口は汚染源がなく、排気口と異なる方位に設置		5.0	0.50	5.0	0.33		
4 給気計画				-	-	-	-		
4.3 運用管理				5.0	0.20	-	-		
1 CO ₂ の監視				3.0	-	-	-		
2 喫煙の制御		全館禁煙		5.0	1.00	-	-		
Q2 サービス性能				-	0.30	-	-		3.2
1 機能性				3.0	0.40	4.4	1.00		3.2
1.1 機能性・使いやすさ				3.0	0.60	5.0	0.60		
1 広さ・収納性				3.0	-	5.0	1.00		
2 高度情報通信設備対応				3.0	-	3.0	-		
3 バリアフリー計画				3.0	1.00	-	-		
1.2 心理性・快適性				3.0	0.40	3.5	0.40		
1 広さ感・景観				3.0	-	4.0	0.50		
2 リフレッシュスペース				3.0	-	-	-		
3 内装計画				3.0	1.00	3.0	0.50		
1.3 維持管理				-	-	-	-		
1 維持管理に配慮した設計				-	-	-	-		
2 維持管理用機能の確保				-	-	-	-		
2 耐用性・信頼性				3.4	0.31	-	-		3.4
2.1 耐震・免震				3.8	0.48	-	-		
1 耐震性		重要度係数Ⅱ Qu/Qun≧1.25を確保		4.0	0.80	-	-		
2 免震・制振性能				3.0	0.20	-	-		
2.2 部品・部材の耐用年数				2.9	0.33	-	-		
1 躯体材料の耐用年数				3.0	0.23	-	-		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				2.0	0.23	-	-		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		床ビニルシート、壁VC、天井吸音板にて15年対応を想定		4.0	0.09	-	-		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		屋外露出系統にガルバリウム、多湿系統に塩化ビニル銅板ダクト		4.0	0.08	-	-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔				3.0	0.15	-	-		
6 主要設備機器の更新必要間隔				3.0	0.23	-	-		

2.3 適切な更新	2.3 適切な更新		-	-	-	-	-	
	2.4 信頼性		3.4	0.19	-	-	-	
	1	空調・換気設備	4.0	0.20	-	-	-	
	2	給排水・衛生設備	4.0	0.20	-	-	-	
	3	電気設備	3.0	0.20	-	-	-	
	4	機械・配管支持方法	3.0	0.20	-	-	-	
	5	通信・情報設備	3.0	0.20	-	-	-	
3 対応性・更新性			3.0	0.29	2.8	1.00	2.9	
3.1 空間のゆとり	3.1 空間のゆとり		3.0	0.31	2.6	0.50	-	
	1	階高のゆとり	3.0	0.60	3.0	0.60	-	
	2	空間の形状・自由さ	3.0	0.40	2.0	0.40	-	
	3.2 荷重のゆとり		3.0	0.31	3.0	0.50	-	
	3.3 設備の更新性		3.0	0.38	-	-	-	
	1	空調配管の更新性	3.0	0.17	-	-	-	
	2	給排水管の更新性	3.0	0.17	-	-	-	
	3	電気配線の更新性	3.0	0.11	-	-	-	
	4	通信配線の更新性	3.0	0.11	-	-	-	
	5	設備機器の更新性	3.0	0.22	-	-	-	
	6	バックアップスペース	3.0	0.22	-	-	-	
	Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	2.2
	1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30	-	-	1.0
	2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30	-	-	2.5	
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		2.0	0.50	-	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.0	
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.3	
1 建物の熱負荷抑制			3.0	0.30	-	-	3.0	
2 自然エネルギー利用			3.0	0.20	-	-	3.0	
2.1	自然エネルギーの直接利用		3.0	0.50	-	-	-	
2.2	自然エネルギーの変換利用		3.0	0.50	-	-	-	
3 設備システムの高効率化			冷温水ポンプ台数制御、氷蓄熱ビル用マルチエアコン採用 ERR=10.1	4.0	0.30	-	4.0	
4 効率的運用			3.0	0.20	-	-	3.0	
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.0	
1 水資源保護			3.4	0.15	-	-	3.4	
1.1	節水		4.0	0.40	-	-	-	
1.2	雨水利用・雑排水再利用		3.0	0.60	-	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.67	-	-	-	
2	雑排水再利用システム導入の有無		3.0	0.33	-	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.1	0.63	-	-	3.1	
2.1	材料使用量の削減		2.0	0.07	-	-	-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.24	-	-	-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用		3.0	0.20	-	-	-	
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用		3.0	0.20	-	-	-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材		2.0	0.05	-	-	-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み		4.0	0.24	-	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			2.6	0.22	-	-	2.6	
3.1	有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.32	-	-	-	
3.2	フロン・ハロンの回避		2.5	0.68	-	-	-	
1	消火剤		-	-	-	-	-	
2	断熱材		2.0	0.50	-	-	-	
3	冷媒		3.0	0.50	-	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	2.8	
1 地球温暖化への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0	
2 地域環境への配慮			2.5	0.33	-	-	2.5	
2.1	大気汚染防止		3.0	0.25	-	-	-	
2.2	温熱環境悪化の改善		2.0	0.50	-	-	-	
2.3	地域インフラへの負荷抑制		3.0	0.25	-	-	-	
1	雨水排水負荷低減		-	-	-	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.33	-	-	-	
3	交通負荷抑制		3.0	0.33	-	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.33	-	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0	
3.1	騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	-	-	
1	騒音		3.0	0.33	-	-	-	
2	振動		3.0	0.33	-	-	-	
3	悪臭		3.0	0.33	-	-	-	
3.2	風害、日照阻害の抑制		3.0	0.40	-	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	-	
2	日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-	-	
3.3	光害の抑制		3.0	0.20	-	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70	-	-	-	
2	星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	-	